

■プロフィール■

東北楽天ゴールデンイーグルス(以下、楽天イーグルス)は、2005年シーズンから新規参入した、東北6県を拠点とするプロ野球チームである。

2011年からは星野仙一監督が就任。就任1年目の3月11日に東日本大震災に見舞われたが、試合後に球場や街頭などで募金活動を行ったり、被災地域への訪問を行うなど、震災復興を願う活動や東北のファンに勇気を与える活動を行ってきた。4月2日のチャリティー試合では、嶋選手が「見せましょう、野球の底力を」と力強いスピーチを行った。

2013年には東北悲願のパ・リーグ優勝。読売ジャイアンツとの日本シリーズを制覇し、初の日本一の栄冠を手にした。優勝パレードは仙台市内中心部で行われ、約21万4千人のファンが集まり、「日本一を東北に！」を合言葉にチームとファンがひとつになって東北に感動と元気を与えた。

岩手県普代村出身の銀次選手など、東北に縁のある選手も多数所属。2016年から梨田昌孝監督を新たに迎えている。

■東北における地域貢献活動■

・東北ろっけん活動

2012年12月、東北の方々に愛されるチームに成長し、真の「東北の球団」を目指してスタート。東北の地域活性化のため、スポーツ振興及び青少年育成に貢献する活動を継続的に実施している。

主な活動内容として、2014年からは、東北6県の新小学1年生約7万人の子どもたちに、楽天イーグルスのキャップをプレゼントし、試合観戦に招待している他、楽天イーグルスの現役選手が小学校を訪問する「学校訪問」では、2015年11月には東北6県の小学校を訪れ、東北各地の子どもたちと触れ合った。また、「フレンドシップジャーニー」では、公式マスコットのクラッチくん・クラッチーナちゃんや東北ゴールデンエンジェルスが、東北各地の幼稚園・保育園・保育所を訪問。楽しくてすぐに覚えられる「イーグルぐるぐる体操」や応援歌に合わせて体を動かしたりなど楽しい時間を一緒に過ごし、たくさん子どもたちに元気を与えている。そのほかにも、元プロ野球選手が東北各地の小学校を訪問する「未来塾」、小中学生に野球の指導を行う「野球塾」などの活動に加え、東北各地のお祭りやイベントに選手やクラッチくんやクラッチーナちゃん・チアリーダー・職員等が参加し、一緒に活動を盛り上げそして楽しみ、東北各地の地域振興に貢献している。

・Tohoku Smile Project

2014年、東北に拠点を置くプロスポーツチームとして、東日本大震災の復興・再生のお手伝いを継続的に実施したいと考え、「スポーツの力で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、「Tohoku Smile Project」を立ち上げました。第1弾では、福島県相馬市に「相馬子どもドーム」を建設するための募金活動を開始し、1.9億円を超えるご寄附をいただき2014年12月に完成、2016年3月末時点で1万人を越える多くの方々に利用されている。また、第2弾では、岩手県大槌町に「大槌子どもグリーンフィールド」(仮称)の建設をめざして募金活動を開始。2017年3月の完成を予定している。2016年5月からは、第3弾として「子どもスタジアム」の建設を目指して活動を行っている。